

信州大学山岳科学総合研究所 シンポジウム

過去10000年間に 日本の山で何が起こったか？

—完新世の気候変動と山地景観の形成—



2012年1月28日(土)
13:00 ▶ 17:00

会場 信州大学理学部C棟2階大会議室 (長野県松本市旭3-1-1)

参加費 無料 (申込みも不要です)

主催 信州大学山岳科学総合研究所

東北日本の花粉化石データが示す完新世の気候変動シグナル

吉田明弘 (東北大学植物園)

完新世の気候変動は日本の高山・亜高山帯の景観に
どのような影響を与えたか

佐々木明彦 (信州大学山岳科学総合研究所)

地形発達が山地生態系の成立に果たす役割

高岡貞夫 (専修大学)

北アルプスに氷河が現存？

—立山・剣岳の万年雪の観測結果から—

福井幸太郎 (立山カルデラ砂防博物館)

問い合わせ先

信州大学山岳科学総合研究所運営支援チーム

〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL.0263-37-2432 e-mail:suims@shinshu-u.ac.jp

※開催日当日は電話・メール等のお問い合わせにお答えできませんので、ご了承ください。